

# PRESS RELEASE

## ■内容についてのお問い合わせ

JICA 中国 独立行政法人 国際協力機構 担当:研修業務課 下田旭美  
〒739-0046 広島県東広島市鏡山 3-3-1 ひろしま国際プラザ内  
TEL:082-421-6310 FAX:082-420-8082 HP: www.jica.go.jp/chugoku/

全 1 枚

【取材検討依頼】

## 「ピースクリエーターになろう」ワークショップの開催

～紛争経験国などからの外国人研修員と広島県在住の若者が  
一緒になって、平和について考えます。～

- と き／2013年6月15日(土) 10:30～16:00 (昼食/12:30～13:30)
- ところ／ひろしま国際プラザ 306研修室  
〒739-0046 東広島市鏡山3-3-1
- 講 師／特定非営利活動法人 これからの学びネットワーク  
理事／ディレクター 平尾順平(ひらお・じゅんぺい)
- 内 容／広島を訪れた修学旅行生向けの参加型ワークショッププログラム※を、JICA 研修員と広島県在住の青年が共に体験します。

※新聞資料から事件のスクラップをしたり、平和についてグループで考える活動を通じて、自分にとっての平和とはどんな状態なのかを改めて考えます。(予定されている活動は以下の通り)

- (1) インタビュー 「日本の平和度どれくらい？」
- (2) 新聞ワーク 「平和なこと、平和でないこと」
- (3) マッピング 「平和ってなんだ？」
- (4) クロージング 「私にとっての平和」

- 参加者／JICA 研修参加者(フィリピン、ベトナム、ネパール、東ティモール、アフガニスタン、ギニアからの研修員合計9名/平和教育または相互理解促進に関連した業務に携わる行政官およびNGO関係者、研究者)と、広島県内在住の方・一般の学生。
- 備 考／使用言語は英語

### 研修実施背景及び概要

◆近年、世界的に国家間紛争は減少したものの、民族間の内戦や紛争が増大しています。それに伴い、一般市民が暴力や破壊を目撃することが増え、直接の被害者・加害者になるなど社会の構成員の大多数が何らかの形で紛争による暴力や喪失を経験しています。◆このような社会において、「平和のための教育」は、紛争や暴力を防ぎ、対立を平和的に解決し、平和を創出するような行動変容をもたらさる態度・価値観を醸成するために重要な役割を担います。◆広島では、第2次世界大戦後、教育が最優先の復興事業の一つに位置づけられ、平和を希求する心を育むことが、長期的な平和の基盤づくりに繋がるとの考えに基づき、原爆体験の学びを中心とする「平和教育」が実践されてきました。これが今日の平和都市ヒロシマにも寄与しています。◆本研修を通じて、世界唯一の被爆地・広島が実践している「平和のための教育」を経験することは、紛争経験国に重要な示唆を与えると考えています。